

👤 ~ 1 9 8 4 ~ 👤

リトル・ダンサー

B I L L Y E L L I O T

映画で考える 「らしさ」の思い込み

対象：小学校高学年以上

名前

年 組

1 「男の子なんだから」は本当？

ボクシング教室に通う11歳のビリーが夢中になったのは、となりで開かれていたバレエでした。でも、炭鉱で働く父と兄は「男がバレエなんて」と大反対します。

👤 「好き」に、性別は関係ない。

🔑 おも こ 思い込みは、言う人もしぼる

「男がバレエなんて」と反対した父は、ビリーの踊る姿を見て、息子の夢を支えようと決めます。思い込みは、言われる人だけでなく、言う人も苦しめることがあるのかもしれない。

※1984年のイギリスの炭鉱の町が舞台です。

2 「らしさ」の思い込みに気づく4つの視点

■ ① どこから来た？

「〇〇らしさ」は、だれが、いつ決めたもの？

■ ② だれを苦しめる？

言われる人も、言う人も、しばられていない？

■ ③ 「好き」を大切に

自分の「好き」を、性別で決めていない？

■ ④ だれかを応援する

周りの支えが、夢をかなえる力になる。

3 映画『リトル・ダンサー』とは

あらすじ

母を亡くしたビリーは、炭鉱で働く父と兄、おばあちゃんと暮らしています。ボクシング教室と同じ体育館で開かれていたバレエ教室に心をひかれ、ウィルキンソン先生に才能を見いだされます。しかし、バレエを習っていることが父と兄に知られてしまい……。

ミュージカルにも

この物語は、エルトン・ジョンが音楽を担当したミュージカルにもなり、日本をふくむ世界各地で上演されています。

見るときの心がまえ

ビリーの「好き」を、だれが、どうやって支えたかに注目しながら見よう。

4 「らしさ」を考えるワーク

 ^{えいが}映画を見て（またはあらすじから）、考えて書こう

① 父と兄がバレエに反対したのは、なぜだ^{おも}と思う？

② 父の気持ち^{きもち}が変わったのは、どの場面^{ばめん}？

③ 「〇〇らしさ」の思い込み^{おもひこ}で、もやもやした経験^{けいけん}は？（書ける範囲で）

④ だれかの「好き」を応援するために、できることは？

5 ふりかえり

「〇〇らしさ」の思い込みは、_____を苦しめることがあると分かりました。これから、だれかの「好き」を知ったときは、_____をしたいと思います。

 『好き』に、性別は関係ない。」

先生・保護者へ：『リトル・ダンサー』は日本で映倫Gですが、乱暴な言葉づかいや、ストライキをめぐる警察との衝突の場面^{はめん}があります。本資料は小学校高学年以上を想定しています。親友マイケル^{とも}の描写を扱う場合は、からかいや詮索につながらないように配慮してください。

© 2026 FilmEdu AI / この教材はAIを活用して作成しています。内容に誤りを含む場合があります。解説文はすべてオリジナルで、ポスター・場面写真は使用していません。作品の著作権は各権利者に帰属します。授業での上映には適切な権利処理が必要になる場合があります。